

みんなで ともに 乗り越えよう

浪江町を復興していくためには、町民の生活再建・健康管理、インフラの復旧、将来に向けたまちづくり、賠償問題、絆の維持など多くの課題があります。

その中で、町がどのような取り組みをしているのかをお知らせします。

「第1回事業再開検討委員会」 が開催されました

8月25日、浪江町商工会（二本松市役所安達支所内）で、「第1回事業再開検討委員会」および「検討委員委嘱状交付式」が開催され、浪江町商工会の原田雄一会長から、委員17名に委嘱状が交付されました。

委員会は、東日本大震災および原子力災害により多くの事業者が休業等を余儀なくされている中、帰還後の町内や避難先での再開を模索し、住みよいまちづくりに寄与することを目的に設置されました。今後の検討内容や調査研究結果から見える要望・提言は、関係機関へ行っていくとのことです。

第1回検討委員会では、浪江町商工会員の事業再開状況および現行補助制度の内容と課題について、意見交換が行われました。

引き続き回を重ねていく予定で、その都度、状況をお知らせします。

■事業再開検討委員会■

委員長 金澤文隆氏 (株)まるあい
副委員長 松原茂氏 (株)マツバヤ
事務局 浪江町商工会事務局

☎産業・賠償対策課商工労働係
TEL 0243(62)1106

通行証の発行について お知らせ

- 全ての通行証の申請（変更含む）受付および発行は、閉庁日（土日、祝日等）は行いません。立入り日の1週間前までに申請してください。
- 通行証の受け取りは、閉庁日でも役場二本松事務所のみ可能です。
- 閉庁日（土日、祝日等）の時間外通行の受付は行いません。

☎生活支援課生活安全係 TEL 0243(62)0151

お詫びと訂正

広報なみえ9月号に誤りがありました。お詫びして訂正します。

3頁 ローソン再開記事
(誤) (株)ローソン東北支店 支店長 村瀬達也
(正) (株)ローソン東北支社 支社長 村瀬達也

☎産業・賠償対策課商工労働係
TEL 0243(62)1106

浪江町メールマガジンの 登録はお済みですか？

浪江町のホームページはほぼ毎日更新されています。最新の行政情報やイベント情報が、リアルタイムで閲覧できますので、インターネット接続が可能な方は定期的な確認をお勧めします。また、ホームページ更新情報を一覧にしてメール配信するサービス（浪江町メールマガジン）も提供しています。こちらもぜひご利用ください。

- 浪江町ホームページ：
[URL www.town.namie.fukushima.jp](http://www.town.namie.fukushima.jp)
- 浪江町メールマガジンの登録はこちらから：
[URL www.town.namie.fukushima.jp/namie-ml/regist.html](http://www.town.namie.fukushima.jp/namie-ml/regist.html)

「つながろうなみえ」 ご存知ですか？

浪江町が運営する公式フェイスブックページ「つながろうなみえ」は、町民の皆さんだけでなく全国の「浪江サポーター」向け情報コミュニティです。様々なイベントの事前告知や写真つきレポートのほか、各紙に掲載された浪江町民の紹介記事へのリンクなどがリアルタイムでご覧になれます。フェイスブックのアカウントを持っていない方でも、インターネットに接続すれば閲覧可能です。ぜひご利用ください。

- 浪江町公式フェイスブックページ「つながろうなみえ」：
[URL www.facebook.com/tsunagaro.namie](http://www.facebook.com/tsunagaro.namie)

町の農業・水産業再生に 向けて

シーフードショーに 出展しました (相馬双葉漁協請戸支所)

8月20日から22日まで、東京ビッグサイトで「第16回ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」が開催され、初めて相馬双葉漁協請戸支所から出展しました。同シーフードショーは、国内外から水産関連企業、地方自治体や研究機関などが参加し、活魚や鮮魚、水産加工品や水産食品、水

産関連資材や加工機械等、展示、紹介、販促活動や商談、研究紹介などを行うもので、日本でも有数の大規模な見本市です。今回は、国内から624社、海外18か国2地域から108社が参加し、小売業者、外食業者、流通業者、水産加工業者、漁業関連業者や海外バイヤーなど多数の来場者でにぎわいました。

開催期間中は、組合青年部や婦人部の皆さんと同漁協請戸支所の職員がブースに立ち、試験操業で

漁獲されたコウナゴ、ミズダコ（生と茹でたもの）の試食を勧めながら、相馬沖の試験操業の現状を説明。試食した方からは「おいしい」との声が聞かれました。コウナゴやシラスについては、いくつかの食品加工業者から食材としての取引の問い合わせがあり、請戸での操業再開に向けて、今後の展開が期待されます。

野菜の実証栽培を 行っています

将来の営農再開に向け活動している「営農再開をめざす会」（広報なみえ8月号で紹介）は、8月23日、北幾世橋地区の実証ほ場にて、かぼちゃときゅうりを収穫しました。収穫物の放射性セシウム濃度の検査結果は、検出下限値以下（ND）で、安全な野菜が栽培できることが実証されました。今後は同ほ場にて、ねぎやにんじんなど順次収穫していく予定です。また、新たにブロッコリーとはくさいを定植しました。



はくさいの定植中



収穫したかぼちゃ

◇収穫物の放射性セシウム濃度

品目	収穫日	測定日	137Cs (セシウム)	134Cs (セシウム)
かぼちゃ	8月23日	8月26日	N.D.	N.D.
きゅうり	7月17日	7月22日	N.D.	N.D.
ばれいしょ	6月8日	7月22日	N.D.	N.D.
たまねぎ	5月29日	7月22日	N.D.	N.D.

※双葉農業普及所にて検査

有害鳥獣に 注意してください

浪江町内でイノシシやサルなど有害鳥獣に遭遇するケースが増えています。庭や田畑などに入り込んだ有害鳥獣を見かけたら、襲われる危険性がありますので、むやみに近づかないでください。

浪江町内への一時立入りの際は、有害鳥獣に遭遇する可能性があることを念頭に置き、十分に気をつけてください。

☎産業・賠償対策課農林水産係
TEL 0243(62)1107